

各位

平成 26 年 7 月 4 日

株式会社 宮崎銀行

投資信託新商品の取扱開始について
～大好評！みやぎんの単位型投信 2 商品を期間限定募集！～

株式会社宮崎銀行（頭取 小池 光一）は、お客さまの多様化するニーズにお応えしていくため、平成 26 年 7 月 7 日より単位型投信 2 商品を下記の通り販売いたします。

記

1. 取扱商品

(1) 『ダブルエンジン 14-07』

「ブラジルリアル建ての割引国債と日経平均株価指数に連動する E T F」に投資する信託期間 3 年 6 カ月の単位型投資信託で、早期繰上償還条件付き（基準価額 12,000 円到達時に信託期限を待たずに繰上償還を行う）となります。

(2) 『US バンクローンファンド（為替ヘッジあり）2014-07』

「変動金利の米ドル建て優先担保付バンクローン」に投資する信託期間 3 年 4 カ月の単位型投資信託です。

2. 取扱期間

(1) 平成 26 年 7 月 7 日（月）～7 月 28 日（月）

(2) 平成 26 年 7 月 7 日（月）～7 月 30 日（水）

※ (1) (2) とともに募集状況によっては期間内に募集を終了することがあります。

3. 取扱店舗 96 カ店（全営業部店）

4. 商品概要

商品名称	ダブルエンジン 14-07	US バンクローンファンド（為替ヘッジあり） 2014-07
運用会社	パインブリッジ・インベストメンツ	日興アセットマネジメント
主要投資対象	主にブラジル・リアル建て割引国債及び日経平均株価に連動する上場投資信託証券（E T F）	主に変動金利の米ドル建て銀行貸付債権
商品の特徴	①主としてブラジル・リアル建て割引国債に投資を行い、ブラジル・リアルベースでの信託財産の成長を目指す ②また、日経平均株価に連動する上場投資信託証券（E T F）に一部投資を行い、日本株式市場の値上がりによる信託財産の成長を目指す ③基準価額が 12,000 円に達した場合は、保有資産を売却し、速やかに繰上げ償還を行う	①主に米国バンクローンマザーファンド受益証券を通じて、変動金利の米ドル建て優先担保付バンクローンに投資を行い、インカム収益の確保と信託財産の成長を目指す ②外貨建て資産は原則として為替のフルヘッジを行う ③米国バンクローンマザーファンド受益証券の運用は P I M C O 社が行う
主なリスク （目論見書記載）	・価格変動リスク ・信用リスク ・為替変動リスク ・金利変動リスク ・流動性リスク ・カントリーリスク 等	・価格変動リスク ・信用リスク ・期限前償還リスク ・流動性リスク ・為替変動リスク ・期限前償還に伴う再投資リスク 等
決算	年 1 回（1 月 25 日：収益分配は行いません。）	2,5,8,11 月の各 15 日 （初回は平成 26 年 8 月 15 日：初回は収益分配を行いません。）
申込（販売）手数料	2.70%（税込み）	2.16%（税込み）
信託設定日	平成 26 年 7 月 29 日	平成 26 年 7 月 31 日
信託期間	平成 30 年 1 月 25 日	平成 29 年 11 月 15 日
信託報酬 ※消費税 8% の場合	① H26.7.29 から H27.1.25 まで ：年率 1.5444%（税込み） ② H27.1.26 から H28.1.25 まで ：年率 0.8964%（税込み） ③ H28.1.26 から～H30.1.25 まで ：年率 0.6804%（税込み）	実質年率 1.70802% 程度（税込み）
信託財産留保額	基準価額の 0.5%	基準価額の 0.3%
解約代金の支払	解約申込受付日から起算して 6 営業日目	解約申込受付日から起算して 6 営業日目

以上

《投資信託についてのご注意》

- ・投資信託は、価格変動を伴う金融商品のため元本は保証されていません。価格変動の要因としては、価格変動リスク、信用リスク、金利リスク、為替変動リスクなどがあります。ただし、各ファンドによりリスクの内容は異なりますので、必ず各ファンドの目論見書および目論見書補完書面を十分にお読みください。
- ・投資信託には、申込時には「申込手数料」、換金時には「信託財産留保額」、運用期間中は「信託報酬」および「その他の費用〈組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査報酬等〉」などがかります。ただし、これらの費用は各ファンドにより異なりますのでその金額等を表示できません。また、当該手数料の合計額についてもファンドによってまたファンドを保有される期間等に応じて異なりますので表示できません。これらの情報については各ファンドの目論見書および目論見書補完書面等を十分にお読みいただくとともに、ご不明な点は取扱店にお問い合わせください。
- ・投資信託の運用による利益・損失はご購入されたお客さまに帰属します。
- ・お申し込みの際は、ご購入されるファンドの最新の目論見書および目論見書補完書面を十分にお読みください。目論見書および目論見書補完書面は当行の取扱店にご用意しています。
- ・投資信託は金融商品取引法第 37 条の 6 の規定に基づく書面による契約の解除（クーリングオフ）の適用はありません。
- ・投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- ・当行でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ・投資信託の分配金は預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- ・分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。

《「ダブルエンジン 14-07」の主なリスク》

- ・当ファンドは、主としてブラジルリアル建て割引国債および日経平均株価に連動する上場投資信託証券を実質的な投資対象としますので、債券の価格や株価の下落、発行会社の財務状況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資するため、円高局面では基準価額の下落要因となります。従って、投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り投資元金が割り込むことがあります。当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」「為替変動リスク」「信用リスク」「金利変動リスク」「カントリーリスク」「流動性リスク」などがあります。これらのリスクを含むより詳細な内容については、目論見書および目論見書補完書面を十分にお読みください。

《「U S バンクローンファンド（為替ヘッジあり）2014-07」の主なリスク》

- ・当ファンドは、主に優先担保付バンクローン（貸付債権）および債券を実質的な投資対象としますので、優先担保付バンクローンおよび債券の価格の下落や、優先担保付バンクローンの債務者、優先担保付バンクローンおよび債券の発行体の財務状況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本としますが、為替変動リスクを完全に排除できるわけではありません。また、円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかるため、基準価額の変動要因となります。従って、投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」「流動性リスク」「信用リスク」「為替変動リスク」「期限前償還リスク」「期限前償還に伴う再投資リスク」などがあります。これらのリスクを含むより詳細な内容については、目論見書および目論見書補完書面を十分にお読みください。

商 号 等 株式会社宮崎銀行
登録金融機関 九州財務局長(登金)第 5 号
加入協会 日本証券業協会

本件に関するお問い合わせ先
個人金融部 河山・川添 TEL0985-32-8350／8351